

# 第1章

## 「第2期浜松市スポーツ推進計画」 の策定にあたって

# 1 計画策定の経緯

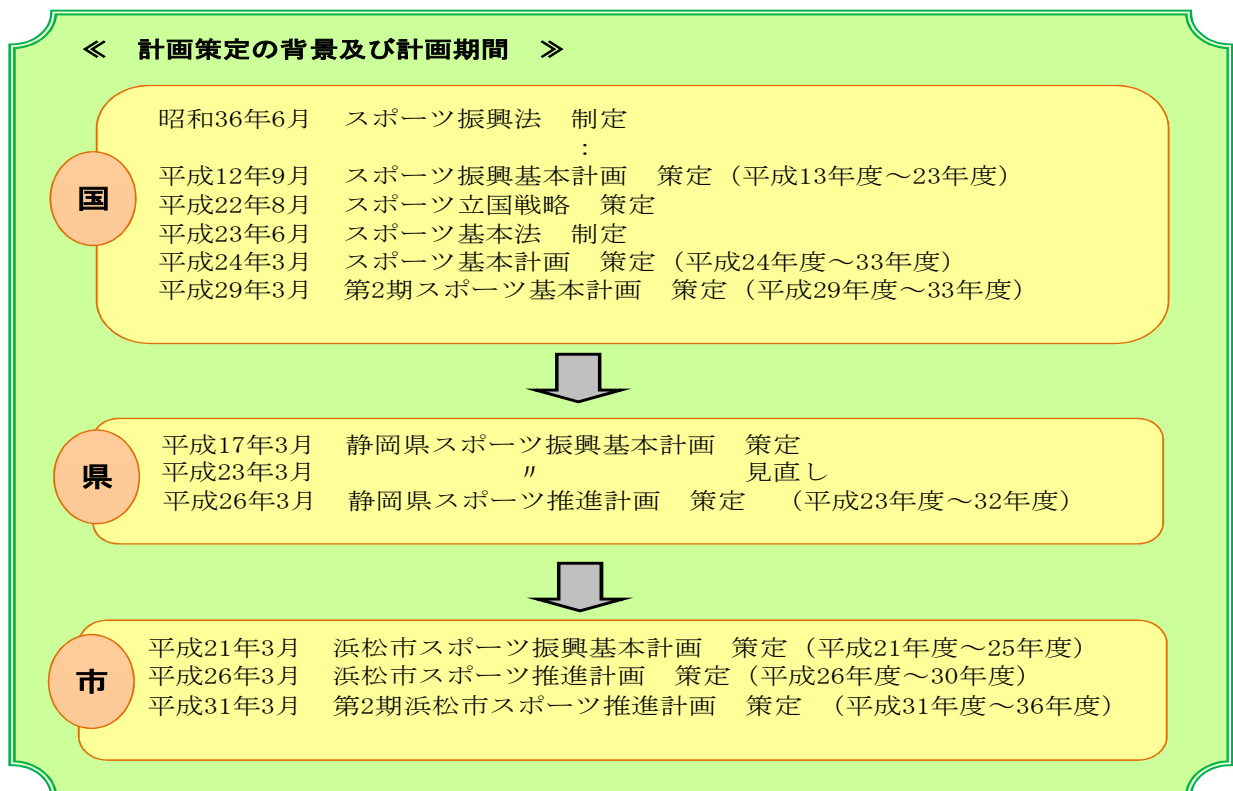
本市では、平成21年3月に「浜松市スポーツ振興基本計画」を策定し、市民一人ひとりがスポーツをライフスタイルの一部にとらえ、心身ともに健やかな生活を営むことができるスポーツ文化都市を実現するため、「するスポーツ」「観るスポーツ」「支える（育てる）スポーツ」の3つをスポーツ振興の柱として、スポーツ施策を推進してきました。

国においては、平成22年8月に「スポーツ立国戦略」を策定し、スポーツを国家戦略とする考えを示しました。その後、昭和36年制定の「スポーツ振興法」を全部改正し、スポーツ立国の実現を目指すため、平成23年6月に「スポーツ基本法」を制定しました。「スポーツ基本法」では、スポーツに関して基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務が規定されました。この規程に基づき、文部科学省は平成24年3月に「スポーツ基本計画」を策定し、静岡県においては「静岡県スポーツ推進計画」がまとめられました。

本市においては、「浜松市スポーツ振興基本計画」の計画年度終了に伴い、「スポーツ文化都市 浜松」の実現を目指し、スポーツ推進の方向性を明確にして、総合的かつ計画的に取り組んでいくため、「浜松市スポーツ推進計画」を策定しました。目標年次を平成26年度から平成30年度とし、社会情勢や国の動向、市民のニーズの変化に応じて、数値目標や各事業の見直しを行いました。

こうした中、平成29年3月には、文部科学省が平成29年度からの5年間で総合的かつ計画的に取り組むべき施策を示した「第2期スポーツ基本計画」を発表しました。

これらの経緯から、「浜松市スポーツ推進計画」の計画年度終了に伴い、これまでの取り組みを検証し、現状と課題を踏まえて「浜松市スポーツ推進計画」の内容を見直しました。そして、「スポーツ基本計画」ならびに国・県の計画を踏まえ、本市が計画的、かつ総合的にスポーツ推進に取り組んでいくための「第2期浜松市スポーツ推進計画」を策定するものです。



## 2 計画策定の趣旨

日本のスポーツは、学校体育や企業スポーツを基盤とした「する」スポーツを中心に発展してきました。しかし、少子高齢化や経済状況の変化、急速な高度情報化など、社会的背景の変化とともに、企業スポーツ等の衰退、子どもたちの体力低下、国際競技力の低迷など、スポーツ界も多くの課題に直面しており、スポーツ環境の整備については、これまでと同じ形で進めていくことが難しくなっていると考えられます。このような社会的背景の変化とそれに伴う価値観の多様化、ライフスタイルの急激な変化は、人々のスポーツへの関わり方にも大きな変化をもたらし、「する」スポーツだけでなく、「みる」「ささえる」などの様々な関わり方が、存在するようになってきています。

また、スポーツは人と人及び地域と地域の交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、「スポーツ振興」の果たす役割は、健康増進や体力の向上にとどまらず、地域社会の再生や地域経済の活力創造に寄与するものとしての期待が高まっています。スポーツを通じた地域・経済活性化のためには、スポーツの成長産業化、スポーツ環境の充実、そしてスポーツ人口の拡大へとつながっていく好循環が重要です。特に、計画期間中には、ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等の大型スポーツイベントの開催に伴う事前キャンプの誘致などを通じて、「スポーツ文化都市 浜松」の魅力を発信するとともに、地域資源とスポーツを掛け合わせた「[スポーツツーリズム](#)」が注目されています。

本市では、2020 年の東京大会をきっかけに、市民のスポーツへの関心、理解を高め子どもや若者達に夢と希望を与え、市民一丸となった取り組みを進めることが大切と考えます。また、市民とトップアスリートとの交流を図ることで、選手との一体感などが生まれ、相手を思いやり、いたわる心の醸成や、スポーツを通じたグローバルな視点と知識を合わせ持つ人づくりに繋がることも期待されます。

このような現状や課題を踏まえつつ、多様化する市民ニーズを的確にとらえ、本市の特性を活かしながら、スポーツ振興の方向性を体系的に示し、スポーツ施策をより一層効果的・効率的に推進していくことを目的として、第 2 期浜松市スポーツ推進計画を策定しました。この計画を確実に推進していくことで、年齢や性別、障がい等を問わず、市民一人ひとりがライフスタイルの一部にスポーツを取り入れ、それぞれの体力や、技術、興味、目的に応じて、気軽にスポーツに親しみ、楽しみ、心身ともに健やかで、豊かな生活を営むことができるまち「スポーツ文化都市 浜松」の実現に努めていきます。

**市民一人ひとりがライフスタイルの一部にスポーツを取り入れ、**

**心身ともに健やかで、豊かな生活を営むことができるまち**

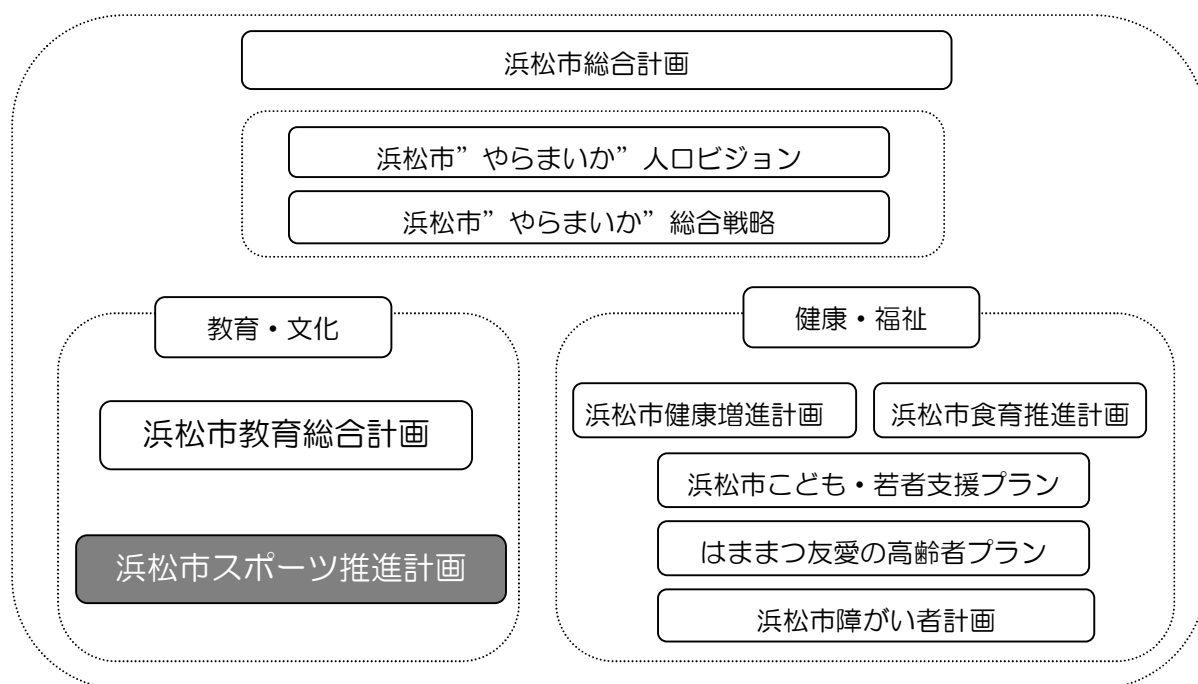
⇒ **「スポーツ文化都市 浜松」の実現**

### 3 計画の性格

本計画は、国の「スポーツ立国戦略」、「スポーツ基本法」及び「第2期スポーツ基本計画」の趣旨及び方向性を踏まえ、本市の実情に照らし合わせて策定したものです。また、本計画の策定にあたっては、本市の上位計画である「浜松市総合計画」との整合性を図っています。

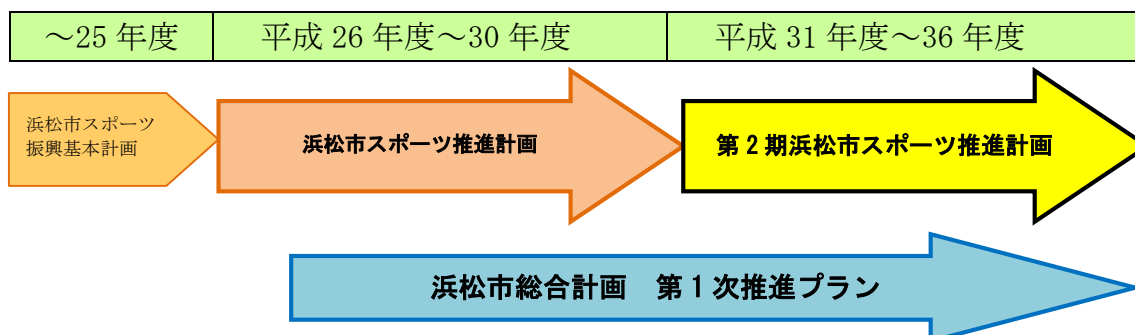
第2期スポーツ推進計画は、[浜松市スポーツ推進審議会](#)の意見をもとに作成し、市民の皆様やスポーツ団体等からも意見をいただき策定しました。

#### 浜松市総合計画における位置づけ



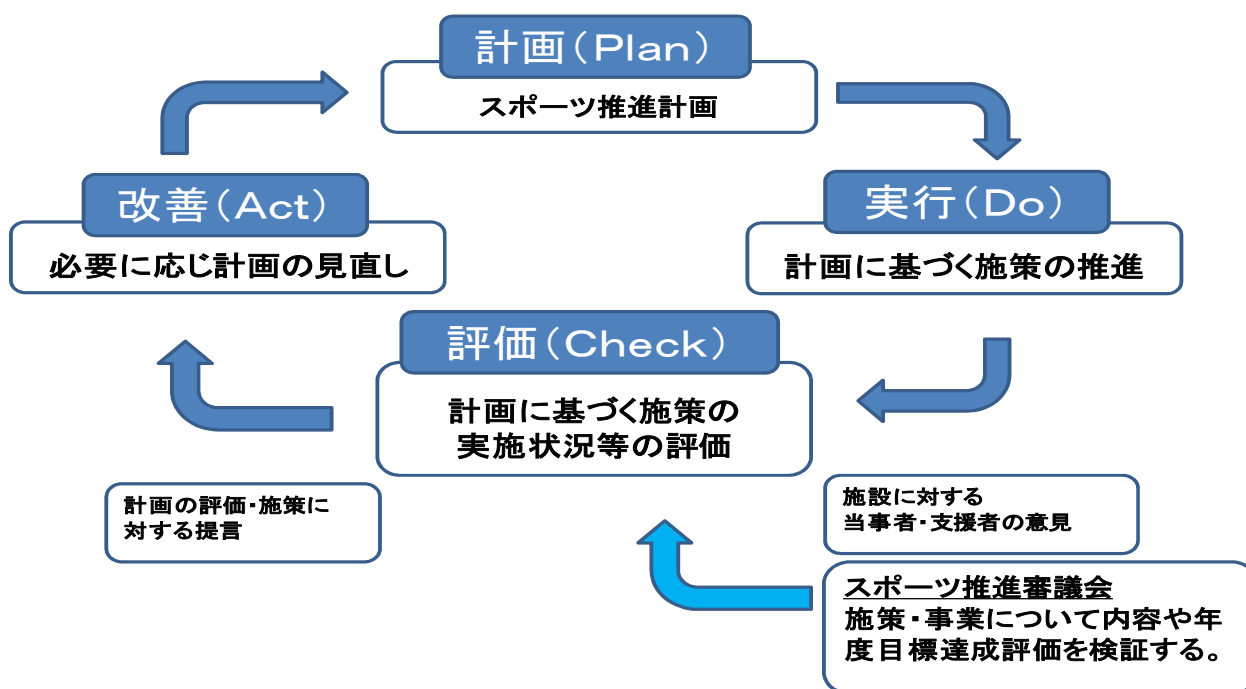
## 4 計画期間及び進捗管理

第2期浜松市スポーツ推進計画の計画期間は、浜松市総合計画（浜松市未来ビジョン第1次推進プラン）に合わせ、平成31年度から平成36年度までの6年間とします。



また、第2期浜松市スポーツ推進計画の目標に向けて、PDCAサイクルを導入し、定期的に評価結果を市民に公表します。

### 【PDCAサイクルのイメージ】



PDCAサイクル：Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Act（改善）

### 《 進捗管理の実施方法 》

進捗管理は、「浜松市スポーツ推進審議会」において実施します。

第4章「スポーツを推進するための具体的な取り組み」に紹介している施策・事業について、前年度に取り組んだ事業の実績を報告し、取り組みの内容や年度目標の達成を評価、検証した上で、課題を把握し、今後の取り組みに反映させていきます。

## 5 計画実現に向けた連携・協働体制

行政だけではなく、市民の皆様をはじめ、地域、学校、民間企業、NPO法人等の団体、スポーツ団体、スポーツ推進委員会、(公財)浜松市体育協会とともに、それぞれの役割や責任を踏まえ、連携・協働して、計画を実現します。

